

研究課題別事後評価結果

1. 研究課題名： 記憶を増強する脳状態操作技術の確立

2. 個人研究者名

武見 充晃（慶応義塾大学工学部 特任講師）

3. 事後評価結果

本研究は、非侵襲的な脳状態操作技術により、ヒトの記憶を増強することを目指した。特に、同じ量の練習をしたとしても、効率的に新しい技能・知識が身につく、「スマート学習」の実現に資する基盤技術の創出を目指した。

まずは、脳刺激によって記憶の増強が実際に実現できることを実証した点、脳への電気刺激による宣言的記憶増強など、単なる脳科学にとどまらない知見が出てきている点が評価できる。特に、SF的な手法を実証しており、社会的なインパクトは大きいと思われる。

ただし、個々の記憶増強は脳刺激以外でもできると思われ、効率の良い方法にまではなっていない点、機能強化の程度および持続性についてより包括的な理解が望まれる。

今後は、記憶能力拡張への技術として（実展開も含め）確立されることを期待したい。